

滋賀大学教育学部 附属学校園 後援会だより

2023（令和5）年9月発行

平素より皆様には、滋賀大学教育学部附属学校園後援会の運営につきまして、ご支援いただき厚く御礼申し上げます。

近年、附属学校を取り巻く財政的状況は年々厳しさを増しており、国からの予算だけではなく、自主的・持続的な資金の確保による附属学校の財政的基盤の強化が必要な状況になってきています。このような大変厳しい財政的状況の中、本会は、子供たちにとって必要な教育環境を提供できるよう資金の確保に向けて努力してまいりました。

今年度後援会予算で実施した事業について報告させていただきます。

幼稚園（なかよしテラスの床面改修）

細く切った紙をつないで遊ぶ子供たち。部屋の中では収まらず、マットが施工されてきれいになったなかよしテラスまでつながっていきます。各クラスの子供たちが、さまざまに関わり、楽しく遊んでいます。



小学校（階段の壁の塗替）

8月に施工されました。とても美しく明るくなったので、夏休み明けに子どもたちが大喜びしました。全校みんなで大切に保ちます。



中学校（渡り廊下マット破損貼替）

おそらく数十年にわたり使われていた渡り廊下マットが新しくなりました。通行の頻度が高い場所ですが、これからは雨の日も快適に移動できそうです。ありがとうございました。



特別支援学校（虹の家内装改修）



内側開きのドアを全室外側開きにしていただきました。ドアの開閉を気にしないで調理活動等がしやすくなりました。また、和室の障子も新しくしていただきました。

今年度導入した「教育環境充実基金」を活用したPJTについて（今後の導入予定）

幼稚園⇒幼児ラボ構想に伴う環境整備

小学校⇒最新型電子黒板の導入（導入済）

中学校⇒未来の教室システムに伴うプロジェクター設置（導入済）

特別支援学校⇒学びを広げる校外活動バスの導入

各学校園と連携し、順次整備を進めています。今後とも会員の皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

滋賀大学基金感謝の集いに出席（7月）

滋賀大学は各基金へ一定額以上寄付した個人・団体を毎年本部彦根講堂で顕彰しています。本会も3年続けて感謝状をいただきました。「いまを生きる基金」を通じた寄付は全額、附属学校の子どものために使われることは言うまでもありません。

